



ニホンカモシカ、アオモリマンテマ (写真上)  
白神山地 (核心地域) (写真右)  
写真提供：青森県

# 「白神山地」 生物の宝庫



2010年10月18日から愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議が開催されますが、「生物多様性」とはどういう意味かご存知でしょうか。

環境省のホームページでは、生き物の「個性」と「つながり」と紹介されています。白神山地のブナ林内には多種多様な動植物が生息・生育しており、ブナ林域の生態系をつぶさに観察することができます。

まず植物については、アオモリマンテマ、ツガルミセバヤ、シラカミクワガタなど希少な地域固有の植物を含む500種類以上の植物が共存しています。

また、動物では、哺乳類の主なものとして国の特別天然記念物ニホンカモシカ、国の天然記念物ヤマネのほか、ニホンザル、ツキノワグマなどの14種のほか、鳥類は国の天然記念物で白神山地の象徴となっているクマゲラ、イヌワシなど90種ほど。その他、は虫類7種、両生類13種、昆虫類2,000種余りが確認されています。

ちなみに、これらの動植物を育ててきた白神山地は、今から約200万年前に始まった海底の隆起によってできた山塊ということです。隆起は今も続いており、その早さは10万年で約100m、年間では約1mmです。単純計算では標高が2000m位になっていてもいいのですが、もろい地質のため地滑りや崩壊を繰り返し、1000m前後の山々が連なる現在の姿が形成されてい

ます。

白神山地へは、青森県側からは西目屋村、<sup>にしめやむら</sup> 鱒ヶ沢町、<sup>あじがさわまち</sup> 深浦町からのアクセスが可能で、コースは①西目屋村：<sup>ふかうらまち</sup> 暗門の滝・ブナ林散策道、②深浦町：白神岳登山、③鱒ヶ沢町：ミニ白神・くろくまの滝などがあります。なお、より原生度が高い核心地域への入山は指定ルートのみ利用可能で、十分な準備と入山手続きが必要です。

青森県では2010年12月に東北新幹線全線開業（八戸・新青森間開業）を控えています。ぜひその前にゆっくりと白神山地の「生物多様性」を体感してみませんか。（協力／青森県環境生活部自然保護課）



参考：環境省ホームページ  
<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/index.html>  
白神山地世界遺産センターホームページ  
[http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/tohoku/banner/10/01\\_dousyoku.html](http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/tohoku/banner/10/01_dousyoku.html)